

独立行政法人地域医療機能推進機構

JCHO 登別病院通信

Japan
Community
Healthcare
Organization

発行日 2026年9月

NO.32



エンマ大王からくり山車 撮影者：片沼

今月号の内容

- 登別地獄まつり ● 人工関節ってどんな手術？
- 第22回登別オープンカンファレンスの開催 ● 出前講座のご案内
- チーム活動の紹介 ● 2026年トレイユ夏の大運動会
- インフルエンザワクチン接種のお知らせ ● 外来診療のご案内





2026/8/29(土)・30(日)

鬼より熱いJCHO! 🍡

地獄まつり出陣!!



JCHOの
若きパワー炸裂



今年も参戦!!
仲の良さNo.1!



地獄祭りの
華たち



頼もしき若手メンバー



未来の主役たち!



祭



鬼もびっくり! 弾ける笑顔!



全カエンジョイ!!





病気 のお話し

人工関節ってどんな手術？



整形外科部長
小澤 慶一

階段の昇り降りですごく膝が痛む、立ち上がる時に足の付け根（股関節）がきしむ。そんな下半身の関節の痛みを「年齢のせい」と諦めていませんか？変形性膝関節症や変形性股関節症などによって日常生活に支障が出ている場合、現代の医療には「人工関節置換術」という確かな治療の選択肢があります。

この手術は、軟骨がすり減って傷んだ関節の表面を削り、金属やポリエチレンなどでできた精巧な人工の関節に置き換える治療法です。医療技術や材質の進歩は目覚ましく、現在の人工関節は耐久性が非常に高いため、個人差はありますが高確率で劇的な痛みの改善が期待できます。

「手術は怖い」「高齢だから無理では」と不安に思う方も多いでしょう。しかし、手術によって痛みの原因そのものを取り除くため、多くの方が術後の痛みの取れ方の早さに驚かれます。リハビリも手術の翌日から専門スタッフと共に歩行練習が始まり、多くの場合は2～3週間で階段の昇り降りが可能になります。

これまで痛みのせいで諦めていた旅行、買い物、ガーデニング、お孫さんとの散歩など、活動的で生き生きとした日常を再び取り戻されている方がたくさんいます。

膝や股関節は、私たちの体を支え、移動するための「要」です。痛みをかばって歩き続けると、腰など他の部位にも負担がかかってしまいます。我慢を続けるのではなく、まずは専門の整形外科を受診し、どのような選択肢があるのか相談してみませんか？痛みのない自由な歩みは、これからの人生の質を格段に高めてくれるはずです。



第22回 登別オープンカンファレンスの開催



地域医療連携室
室長
伊藤 洋介

7月2日登別市観光交流センター ヌプルにて、「第22回登別オープンカンファレンス」を開催いたしました。当院を核とした地域医療連携のさらなる強化と推進を目的として、地域の医療関係者の皆様との情報共有と交流の場として定期的に実施しています。

今回は、整形外科の徳永真一医師から「変形性股関節症と人工関節置換術」について、神経内科の河田由香医師からは「パーキンソン病」をテーマに講演いただきました。終了後は、意見交換会を実施し、懇親を深める場となり、顔の見える関係づくりが一層促進されました。

今後も当院は、地域の医療・介護関係者の皆様と連携を深めながら、質の高い医療提供体制の構築に努めてまいります。



徳永医師



河田医師

出前講座のご案内

JCHO登別病院は、「良質で安全な医療」「笑顔と真心」「地域との連携」を理念に掲げ、地域包括の要として健康と命を守ることを使命としております。地域の皆さんの健康、疾病予防の一環として、当院職員による出前講座を行っております。

- **対象** 町内会、老人クラブ、学校、企業、各種団体等。
- **日時** 原則、平日のみ開催。(土日祝祭日ご希望は要相談)
- **会場** 申込者で準備ください。また、会場費は申込者の負担をお願いします。
- **費用** 講師料、交通費等の費用はかかりません。



● 出前講座テーマ

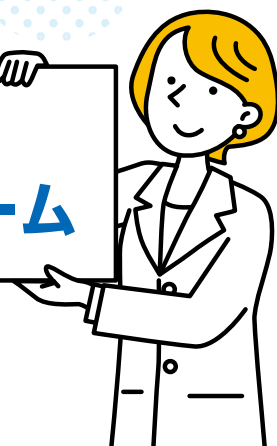
担当者	テーマ	内容
看護師	病気のお話や健康相談についてなど	生活習慣病・骨粗鬆症・訪問看護・健康診断・感染対策・服薬管理などについて
リハビリ職員	からだの健康について(運動・筋力・バランス・認知症)など	運動効果・健康体操・転倒予防・骨折予防・腰痛予防・認知症予防・嚥下体操などについて
管理栄養士	食事について	低栄養・夏バテ・フレイルなどについて

★詳しくはJCHO登別病院HPをご覧ください。

チーム活動の紹介



身体拘束 最小化チーム



西病棟
神山 幸子



当院では、緊急やむを得ない場合を除き身体拘束をしないことを原則としていますが、やむを得ず身体拘束を行うことがあります。そのため、身体拘束最小化チームでは、院内の身体拘束実施状況の把握や病棟ラウンドを行っています。病棟ラウンドでは、多職種（医師、看護師、薬剤師、理学療法士、医療ソーシャルワーカー）で意見交換を行い、早期に身体拘束が解除できるよう取り組んでいます。病棟では編み物が得意な看護師が作成した認知症マフ（毛糸や布で作った筒状のもの）を患者さんへ使用しています。認知症マフは、触れることで緊張や不安の緩和、安心感を得る効果があり、点滴などのルート類の自己抜去予防にもつなげることができ、身体拘束を行うことなく治療を受けることができます。また昨年より、病棟の看護方式を変更したことで、患者さんのそばにいられる時間を多く確保でき、患者さんに寄り添うことで入院生活を安心して過ごせる看護を目指し関わっています。しかし、やむを得ず身体拘束を行った場合はケアの工夫や環境を整え、苦痛を最小限に抑えられるように努めています。

患者さんが入院治療のため、日常と違う環境や心身状態の中で、安心安全に治療やリハビリが行えるように、また、家族の方も安心して入院生活を見守れるような医療・看護・環境の提供ができるように今後も努めてまいります。



2026年 トレイユ夏の 大運動会



通所リハビリテーション
大西 愛

短時間通所リハビリテーション「トレイユ」では普段は運動を中心としたリハビリに取り組んでいます。

利用者の皆様に体を動かす楽しさや仲間と協力する喜びを感じて頂きたいという思いから初めて大運動会を企画し、紅白のチームに分かれてリレー、綱引き、玉入れの三種目に挑戦しました。

リレーは一人ひとりがバトンを持ち隣の人へ物を渡してつないでいくリレーを行いました。お互いに声を掛け合いながら息を合わせて協力する姿が印象的でした。綱引きは椅子に座り、足で紐を引っ張って勝負しました。皆さん真剣な表情で最後まで力を出し切り、迫力のある熱戦が繰り広げられました。玉入れはトイレトペーパーの芯を使用し、狙いを定めて次々とカゴに投げ入れ、チーム一丸となって得点を競いました。初めての大運動会は楽しみながら体を動かし、日頃のリハビリの成果を存分に発揮され、笑顔と活気にあふれた日となりました。

大運動会後のアンケートでは「楽しく面白いだけでなく素晴らしいリハビリになりました」「また来年も参加したい」といった声が多く寄せられ大盛況の行事となりました。これからも楽しみながらリハビリに取り組める行事を企画してまいります。





令和8年度インフルエンザ ワクチン接種のお知らせ

詳細は
病院ホームページを
ご覧ください。

当院で健康診断を
受けられる方へ

健康診断検査日と同日にインフルエンザワクチン接種を希望する方は予約時または
検査前日までにこちらへご連絡ください。 健康管理センター ☎(0143)80-1137

● 外来診療のご案内 ●

診療受付時間 8時30分～11時30分
診療開始時間 9時（脳神経内科9時30分）～

		診察室	月	火	水	木	金
整形外科	午前	B3		江崎 克樹	江崎 克樹	諸富 響	江崎 克樹
		B4	小澤 慶一	小澤 慶一	諸富 響	小澤 慶一 (予約10時30分枠迄)	諸富 響
		B5	徳永 真一		徳永 真一		徳永 真一
内科	午前	A2	石川 典俊	石川 典俊	石川 典俊	石川 典俊	中津 知己 (第4週)
		A1	河田 由香 (10時00分から)			河田 由香	河田 由香
		A3		代田 充	代田 充		皆川 夏樹
脳神経内科	午前	A1	出張医			出張医	
泌尿器科	午前	B2			出張医		

- 診療体制が変更となる場合があります。その際は院内告知やホームページ上でお知らせします。
- 予約の変更は専用ダイヤル☎0143-50-6840（受付は平日15:00～17:00）へお願いします。

編集 後記

9月に入り秋の訪れを感じてきました。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもあります。十分な休息とバランスのよい食事を心がけ、体調に気をつけてお過ごしください。今号もお読みいただき、ありがとうございました。 広報委員 福野



ジェイコー
JCHO 登別病院

〒059-0598 登別市登別東町3丁目10番地22
TEL (0143) 80-1115 FAX (0143) 80-2250
URL : <https://noboribetsu.jcho.go.jp>
Mail : main@noboribetsu.jcho.go.jp

JCHO登別病院通信 No.32

2026年9月発行

〈各交通機関〉

- JR登別駅下車（特急列車停車）（徒歩10分）
- 札幌－室蘭高速バス登別下車（徒歩7分）
- 道央自動車道：登別東インターより2分

出版責任者 院長 石川 典 俊
編集長 事務長 長 尾 真 人